

これから始まる介護保険制度改正について 厚生労働省とのヒアリング円卓会議の報告です！



東京・神奈川のワーカーズ組織の福祉団体が介護保険制度改正案の内容に関わる事項について厚生労働省に質問を提出し、4月27日、それぞれの事項に現時点での回答をいただきました。



厚生労働省出席者8名、一般参加者39名。空席なしでした。

質問事項

I 居宅介護支援事業について

1. ケアプランの自己負担導入の意義（理由）について
2. ケアプランの特定集中減算と公正中立の確保について
3. ケアマネジャーに関する利用者の評価データについて
4. 要介護認定調査の改訂について

II 介護従事者施策について

1. 「2025年に向けた介護人材にかかる需給推計（暫定値）」に関して
2. 介護人材の「総合的な確保方策」の「2025年の介護人材の目指すべき姿」
3. 介護ロボット、IT活用に関して
4. 外国人労働者に関して
5. 介護離職ゼロの施策に関して

III 軽度者（要介護1,2）からの生活援助外しに関して

□ケアプランの自己負担導入について、これまで審議会などで意見が出されたが現時点で検討段階には至っていないという回答。ケアプラン作成の自己負担の導入について異議あり。「サービス」と言うよりケアプラン作成のケアマネジメント「機能」として考えるべきではないかと質問をする。

□消費税を財源とする「基金」の使い方について、また「処遇改善交付金」の出どころについての意見

□要介護1,2のサービス利用のデータを家族形態別にとる要望など、更に調査を求める

他、様々な現場の声を届けました。

ACT・人とまちづくりの参加ケアマネジャーは、居宅介護支援事業に関する各項目を質問し意見を述べました。厚生労働省の回答者の皆様が耳を傾けうなずいていらっしゃる様子が印象的でした。



署名活動、6月のフォーラム
へ向けてミーティング



NPO ACT・人とまちづくりからの参加者

- | | |
|---------|-----------|
| たま北 | 香丸真理子（司会） |
| | 武田恵 |
| にしとうきょう | 佐藤英子 |
| | 篠原ふじ子 |
| ねりま | 菊池ユリ子 |
| | 松澤邦栄 |
| 事務局 | 愛澤かな子 |